

## 特集/これからの食品開発を考えるXVII

### ■食品産業の安心・安全性確保の取り組みの現状

(財)食品産業センター JFARB 審査員評価登録室室長 大西 吉久

### ■食品の機能性と安全性の追求

いわゆる健康食品と規格基準“JHFA”の現状と今後

(財)日本健康・栄養食品協会 石田 幸久

### ■トクホ制度の現状と将来

(財)日本健康・栄養食品協会 橘川 俊明

記念特集

食品の安全性と健康機能情報を一堂に!

Hi&Stec「食品開発展2006」誌上展示会

品質・安全  
対策

食品安全マネジメントシステム  
ISO22000審査機関・受審企業の動き

編集部

支援技術

X線異物検出装置と金属検出機の最新動向

編集部

10月4日(水)~6日(金)  
東京ビッグサイト西1,2ホール,アトリウム  
「食品開発展2006」開催!  
Hi Health Ingredients  
Stec Safety & Technology



HEALTH INGREDIENTS  
JAPAN

# ニュース

## 「砂漠人参カンカ」に 新規成分・新機能を発見

栄進商事では、このほど近畿大学薬学部・村岡修氏、京都薬科大学・吉川雅之氏らとの共同研究において「砂漠人参カンカ」(学名:カンカニクジュヨウ)の新規配糖体「カンカノシド」の単離に成功。さらにメタノールエキスに活性酸素消去作用および血管拡張作用を見出し、アンチエイジング素材として積極展開する方針を明らかにした。

同品の主な有効成分はアクテオシド、エキナコシドで、ほかにアルカロイド、フラボノイド類、アミノ酸などが含まれている。これまでカンカの効果効能については中国の研究機関などにより、滋養強壮、更年期障害の予防・改善、脳機能の活性および認知症の予防、免疫力向上作用などが報告されてきたが、今回の研究により、抗酸化作用と血管拡張作用があることが確認された。さらに数種の新規配糖体としてカンカノシドA-G、およびカンカノース、カンカノール等が単離され、それらの化学構造が明らかにされた。カンカノシドについては高血圧症への有用性が確認されるとともに、昇圧作用を伴わない滋養強壮作用の有効成分であることが示唆された。この研究成果は近畿大学薬学部・薬学総合研究所と京都薬科大学による「新規機能性食品素材開発共同プロジェクト」によるもので、7月末に開催された「第25回天然物科学国際会議」ですでに発表済み。

カンカの主要産地は中国・タクラマカン砂漠南部のホータン。同社では、2004年の食薬区分改正で食品として区分されたことを機に、同年8月から原料およびOEM供給を開始。すでに約20社の健康食品メーカーから錠剤やドリンクタイプの製品が発売されているが、今後サプリメントに限らず一般食品分野でも積極的な展開を図るとしている。クタイプの製品が発売されているが、今後サプリメントに限らず一般食品分野でも積極的な展開を図るとしている。